



六月に開講した第二十回語り部養成講座が閉講しました。八月三日(土)全六回の講習を六名の生徒が受講し、講座の最終日には自分で選んだ民話を語りました。

語り部養成講座
閉講式



夕鶴の里資料館報
令和元年8月20日
第104号
発行 夕鶴の里
TEL 47-5800

今回は大人の部と子供の部どちらにも受講経験があり、皆さん新たな民話語りに挑戦しました。最終日の発表会では皆さん昨年よりも上達した語りを披露していました。語りに興味のある方！是非来年は受講してみませんか？初心者大歓迎です。



↑ 真綿作り体験中

↓ デザインを皆で考え中



八月三日から染め織り講習会が始まりました。初回は自分が作るマフラーのデザインを考え、蚕の繭から真綿を作る体験をしました。次回は真綿を漢方で染色します。

染め織り講習会が
始まりました

9月の昔のあそび

「押し花とドライフラワーで箸入れを作ろう」

- ◆日時：9月21日(土)
- ◆時間：10時～
- ◆場所：夕鶴の里
- ◆参加費：無料



いろいろな草花の押し花と紙を組み合わせてオリジナルの箸入れが作れます。ぜひ、ご参加下さい

第21回夕鶴の里

子どもまつり

日時：9月22日(日)
午前10時30分開演
場所：夕鶴の里語り部ホール

◇ゲスト

東北文教大学児童文化部
(ボードビル・人形劇・紙芝居)
入場料：無料

昔のあそび
ゆべしを作って食べよう

七月二十七日に「昔のあそびゆべしを作って食べよう」が開催されました。今回は漆山小学校の女子児童2名と、夕鶴の里のご近所の方のところにホームステイしているアメリカのハイスクール3年生の「Loke」君が参加してくれました。

蒸しあがったゆべしを見ると、「おいしそう〜」と笑顔になっていました。



皆さん上手にできました！

近代女性の自活の道

資料館三階の特別展コーナーでは「裁縫資料展」を開催しています。七月に大幅な展示替えを行い、女学生が製作した裁縫雛形と共に新たに手廻し式のシンガーミシンを展示しています。

シンガーミシンはアメリカのメーカーで、明治三十三年に日本で販売を始めた。また、明治三十九年に「自活の道を求めらる婦人方に告ぐ」という触れ込みで、販売促進と宣伝を兼ねたシンガーミシン裁縫女学院が開校しています。山形でも大正六年に「ミシンの女教師募集。初任給十二円以上。裁縫学校卒業またはミシン裁縫熟達者」という求人募集を出している。山形支部が出し、この他県内では山形が松屋裁縫部内裁縫女塾の教授科目として、「和服裁縫一式、ミシン裁縫」

と書いており、ミシン裁縫の教師養成が行われていたことがわかります。ミシン縫いの技術は近代女性の、経済的自立を助け、やがて一般家庭にも広がっていきます。

〈参考文献〉
・初期のシンガーミシン裁縫女学院の型紙教育
―明治四十一年の実物型紙による検討―
・ミシンと日本の近代―消費者の創出―
・時を紡ぐやまがたの女性たち―山形県の女性の歩み―



シンガー社製手廻しミシン
(所蔵：時代のわすれもの)

第20回夕鶴の里 民話まつり

今年は囲炉裏を囲んでの語りです！

日時：10月6日（日）

午後1時開演

場所：夕鶴の里語り部ホール

入場料：200円（小学生以下無料）



長沢登代さん



島貫貞子さん

第1部

民話会ゆうづるの語り

第2部

長沢登代さんと島貫貞子さんの語り&トーク

お2人の対談形式によるトークをしながらの民話のご口演